

第 9 回 寄付 講義

6 月 12 日

講 師：足立一馬さん（大 19 回） 大分大学 監事

テーマ：教育 協育 共育

足立氏は経済学部在学中に社会科の教員免許、卒業後に働きながら通信教育で英語の免許を取得。最初の赴任校である県立竹田高校で 10 年勤務したのち舞鶴高校には通算 20 年勤務。現在は舞鶴高校の同窓会長でもある。平成 19 年から 8 年間は大分市教育長。幼児教育から高校まで、そして現在の大分大学と、教育一筋に打ち込んでこられた。

○「きょういく」には 3 つの意味がある。



教え学ぶ「教育」と、家庭・学校・社会が協力して育てる「協育」、それに共に学びあい、共に育ち共に育てられる「共育」。ヒト科が属する哺乳類は一人では育たない。

“焼け野の雉夜の鶴 “…野を焼かれたキジが自分の命にかえてもその子を救おうとし、また、寒い夜に鶴が自分の羽でその子を暖める

“獅子は我が子を千尋の谷に突き落とす “…本当に深い愛情をもち我が子にわざと試練を与えて成長させる

”トラは子を思うて千里を走る “

等のことわざがあるように親や周囲が教育しなければ育たない。

教育長時代、大分市で九州都市教育長会議が開かれたときに高

崎山の猿の子育てについて講演してもらい、好評を博したことがある。

- 小学校教員採用試験の競争倍率が低下している。
 - ・ 団塊世代の 1 世代後に大量採用された教員が 2020 年に退職のピークを迎えるため、採用数が増加している。
 - ・ 教師の仕事はきつい、保護者への対応が難しい、生徒指導・生活指導が難しい等の見方が広まり、志望者が減少。

- 名前について
 - ・ 「令和」は素晴らしい。一人ひとりが花を大きく咲かせることができる時代、戦争・災害のない平和な時代であってほしい。
 - ・ 最近の子供のキラキラネームは半分も読めない。
一三三（ワルツ、ドレミ）、本気（マジ）、和源（ワーゲン）
- 人生を 24 時間に例えると、皆さんはいま、朝 5 時か 6 時のところにいる。これからの人生に頑張って立ち向かえ。
- スポーツを通して体と心を鍛えることが大切。

